

# くじゅうだより

TAKE FREE!

春の特別な風景  
野焼きとは??

2019 春号

## くじゅうファンクラブ活動情報

\*平成28年5月31日から、「くじゅう地区管理運営協議会」の通称名称が、「くじゅうファンクラブ」となりました。

皆さまの支援で、  
こんな活動をしています。

教育・  
普及啓発

自然環境  
保全・調査

登山道等  
維持管理

### チームタデ原 寒くても元気に活動中です!

タデ原について学び、発信することを目的に結成されたチームタデ原(九重町の小中学生11名在籍)。2月23日の活動では、タデ原から指山湧水まで歩きながら、冬の自然観察を行いました。

自然観察では木道を歩きながら、植物の冬芽の観察や動物の痕跡などをみつけました。植物の観察では実際に触ってみたり、匂いをかいだりしてみました。動物の痕跡探しで目立ったのは、鹿による被害でした。木の皮が剥がされていたり、角を研いだ後もありました。今後はこういった鹿や他の動物による被害を防ぐことも大切だと感じました。また指山湧水では、中学生とともに本格的な水質検査も行いました。水質検査ではPH、全硬度、CODと3種類おこないました。本格的な調査をする中で、水の温度を計測したり、試薬に入れた水の色が変化の様子をみることで、改めてタデ原周辺の水について勉強することができました。

これからまた春を迎え多くの花が咲き始め、動物たちも活動を始める時期なので、今回の活動で学んだことを活かしながら今後も有意義な活動をしていきたいと思います。



食害にあった木の観察



指山湧水での水質検査

### 『くじゅうファンクラブ寄付つきタデ原ガイドツアー』が始まります!

4月1日から、(株)JTBが募集する「天空のお花畑タデ原ツアー」が始まります。このツアーでは、くじゅうファンクラブ会員でもある「くじゅうネイチャーガイドクラブ」がタデ原湿原を案内します。その際に、参加した人から1人あたり500円が、自然環境保全費としてくじゅうファンクラブに寄付されるしくみです。(寄付金は参加料に含まれています。)

ガイド付きでタデ原を満喫しながら自然環境保全にも役立つことができるこのツアー、申し込みはエースJTB取扱店へご連絡ください。個人参加の他に、団体ツアーとしてプランもあります。

- ツアー開催日: 2019年4月~9月の毎週土曜日 (8月31日を除く)および4月29日、5月2日
- 集合時間: 9時50分
- 所要時間: 2時間 ■参加料: 1,500円(個人の場合)



### 阿蘇くじゅう国立公園・タデ原レクチャー

<参加費無料/要予約(団体向け)>

学校などの団体向けプログラム。国立公園の概要やタデ原湿原についてのレクチャーを15分~30分程度で行います。お気軽にご相談ください。



### くじゅうだより 2019 春号

発行元: くじゅうファンクラブ  
(くじゅう地区管理運営協議会)  
879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野255-33  
長者原ビジターセンター  
TEL & FAX 0973-79-2154  
長者原ビジターセンターホームページ:  
<http://kyushu.env.go.jp/nature/tyojyabaru/>

★くじゅうの最新の自然情報などはフェイスブックで!  
<https://ja-jp.facebook.com/choujabaruvisitor/>  
★活動報告やくじゅうの基本情報などはくじゅうファンクラブホームページで!  
<http://kujufanclub.com/>



### 江戸時代からの一瞥

江戸時代の「九重山記」に「春は黒色」とあるように、野焼きのあとの黒い大地はくじゅうの春を代表する色です。先日別府市と由布市にまたがる「猪の瀬戸湿原」を通りがかると、ちょうど野焼きの真最中でした。すすけた煙の臭いに、もう春が来たな~と感じました。野焼きのかおりは、環境省の「かおり風景100選」にも選ばれています。黒い大地には、キスミレやサクラソウなどの春の花が彩をそえます。くじゅうの春を五感で感じに来てみませんか? (種村)

### くじゅう連山の道標をつくっています!

くじゅうファンクラブでは、くじゅう連山の老朽化したり小さくて見づらかったりする道標を交換し、英語表記のあるものに変えるなどの整備をしています。今年度もあらたに2基を整備することになりました。3月中には設置できる見込みです。

道標は、登山者が思い思いに立てるものではなく、本来はその登山道の管理者が整備するものです。しかし、くじゅう連山には、実は「管理者不在」の登山道が多く、そのような場所では、土地の「所有者」の許可をとって、既存の道標を交換する手続きをおこないます。くじゅうファンクラブでは、このような手続きをふんで、登山者が少しでも安全に歩けるよう、お手伝いをしています。

昨年度は、坊ガツル、北千里浜、空池の各分岐に道標を設置(交換)しました。なにぶん高額なので、いちどにたくさん場所を整備はできませんが、今後もこのような活動を継続して行きたいと考えています!ご支援をお願いします。(写真左:道標設置のようす、右:設置した道標、いずれも昨年)



### 「長者原地区植物保全協議会」などに出席しています

飯田高原の長者原周辺を通る「やまなみハイウェイ(県道11号)」では、歩道を設置するための拡幅工事が昨年からおこなわれています。この道路の周辺には、飯田高原の植生を特徴づける貴重な植物や景観が残っているため、それらに配慮しながら工事は進められなければなりません。

くじゅうファンクラブは、平成29年度から、この工事にともなう植物の保全を考える「長者原地区植物保全協議会」の委員となっています。九重の自然を守る会の方々などとともに、保護上重要な植物の保全や景観の維持・改善について、地域の自然を見守ってきた立場から協議に参加しています。

(写真:歩道の設置が進むやまなみハイウェイ)



### タデ原の自然観察会

<参加費無料/事前申込不要(個人の場合)>  
九重の自然を守る会がガイドする人気のイベント。毎週日曜・祝日10:00~開催しています(12月~2月は隔週開催)。10時までに、直接ビジターセンターへお越しください。



くじゅうファンクラブでは、上記のような教育普及・啓発活動、自然環境保全・調査活動、登山道等管理活動を実施しています。活動に賛同して下さる賛助会員(個人一口3,000円/年、団体一口10,000円/年)や寄付を募集しています。賛助会員の方には、会員証の発行のほか、缶バッジのプレゼント・お便りの送付などの特典を用意しています。詳しくはくじゅうファンクラブホームページ(左下にQRコード記載)をご覧ください。

### 長者原ビジターセンターへは...



車で、  
由布院から40分  
九重ICから35分  
黒川温泉から30分  
阿蘇・竹田市街  
から50分です。

# くじゅうの大地を黒く染める 春の野焼き

くじゅうの春といえば野焼きです。  
黄金色の枯れ野原はあつという間に一面真っ黒になります。  
くじゅうでは、「春は黒」という言葉があります。それはこの野  
焼きによって真っ黒に焼かれた「大地の色」と言われています。  
昔からくじゅうでは野焼きが行われていました。

そもそも何のために野を焼いたのでしょうか？  
昔は牛や馬を放牧したり、牧畜のための飼料や家の屋根を作る  
材料として利用されてきました。こうして野焼きを継続して  
行うことが、生活をしていくうえで当たり前でもあり、人々  
の暮らしを守るためにも必要な作業でもありました。

今もなお続いている野焼きが行われなくなると、今後どのよ  
うな変化が生じるのでしょうか？また必要とされる理由につい  
ても考えてみたいと思います。



## 野焼きに関わる人

野焼きは毎年多くの人の力で行われ  
ているのをご存知ですか？  
野焼き実行委員会を中心として、地元  
自然保護団体、牧野組合、消防団、観光に  
携わる人などに加えて、ボランティアの人  
たちなど多くの人が関わって実施でき  
ます。単に枯れ野原に火をつければい  
いというわけではなく、火つけ役と呼ば  
れる人が、風の流れを的確に火をつけま  
す。これも長年野焼きに関わっているか  
らできることです。そして細心の注意を  
払って消していきます。また事故や怪我  
が起きないように、周りと協力して行  
うことも重要です。

## 野焼きのあとに咲く花々

タデ原では野焼き後にたくさんの植物が咲き始めます！なかでも代  
表的なのがキスミレ！  
キスミレは小さくて可愛い花ですが、群生で咲くととっても目立  
って黄色いお花畑のような景色が広がります！泉水山周辺などで  
咲くので、春はドライブしながら楽しめます☆  
ぜひ春は野焼き後のくじゅうでたくさんの植物を見つけてみて  
ください！



サクラソウ



ハルリンドウ



キスミレ



リュウキンカ



ドライブしながら楽しめる  
キスミレスポット

地図で示している場所は、  
くじゅう連山周辺で気軽に見  
ることが出来るスポット  
です！

さらに詳しく！

①森林になつてしまふ...  
草原は野焼きが行われなくなるといずれ木々が生  
え始め、森林へと変化していきまふ。  
しかし野焼きを行うことで、それを防ぐことができま  
す。

②草原にしかない生き物が姿を  
消してしまふ...  
森林へと変化した場合、草原という環境でしか生き  
られない植物や生き物が姿を消してしまふ。こ  
くじゅうの草原地帯では、たくさんの貴重な「植物」  
「動物」がいます。そういった草原にしかない貴重な  
植物などの生息環境を守ることも、野焼きを行う大  
切な理由になります。

## ☆野焼きをおこなわなくなつたら？☆

野焼きとは、枯れ野原に火を入れる作業のこと  
を言います。  
時期は場所によつても違いますが、タデ原湿原  
や泉水山は3月下旬に行われることが多いです。  
野焼きは夏から秋にかけていくつもの準備をした  
後、3月の本焼きを迎えます。  
まず秋に、防火線切りと言つて、野焼きを行う  
周辺の草を刈り、刈つた部分を焼くことで防火帯  
を作ります。これを行うことで、3月の本焼きの  
際に、火の延焼を防ぐことができます。タデ原湿  
原では防火線切りを行ったあと、刈つた草を寄せ  
る草寄せ作業を行い、木道への延焼を防いでいま  
す。

